

グローバル業務標準: サラからの前書き

CEOからのメッセージ

Steelcaseの企業文化は、信頼、誠実さ、そして尊重に根ざしており、私たち一人ひとりがビジネス全体にわたって常に倫理的な行動と誠実な意思決定を実践するという役割を担っています。当社の価値観を実践し、コミットメントを真剣に受け止めるとき、私たちは正しいことを行うだけでなく、それを正しいやり方で実践できるようになります。

こうした理由から、Steelcaseの全ての従業員の皆さんに新しいグローバル業務標準コースの受講をお願いしています。皆さんには、責任ある選択をして、誠実に行動すると共に、疑わしい行為が発生した場合にはそれに気づくことができる力を確実に備えていただきたいと思います。何か気がかりなことを目撃したり、腑に落ちないと感じたりした場合は、ご自分のリーダーに相談するか、Steelcaseインテグリティヘルプラインを利用してください。当社の評判は、皆さんから始まります。当社の高い標準を守るために皆さんが費やしてきたこれまでの努力、そして今後のさらなる努力に対し、この場を借りて感謝申し上げたいと思います。

サラ・アームブラスター

社長兼 CEO

グローバル企業

グローバル企業であるということは、当社が事業を展開するにあたり、国際通商に関する法律や規制を理解し、それらを遵守しなければならないということです。当社が拠点を設けているか、顧客にサービスを提供しているすべての国の法律と文化を理解することが求められます。Steelcaseは、米国で登録されている公開・多国籍企業ですので、米国法とそれ以外の国の法律との間に矛盾が生じた場合は、米国法を優先する必要があります。

私たちは一体となって取り組みます

Steelcaseの従業員は日常的に意思決定を行います。

私たちは、健全なビジネス関係を維持し、忠誠心を育む方法で、適法、倫理的、公正に行動する責任を負っています。皆さんには、状況にどのように対処するのか、質問や懸念の答えを誰に求めるべきなのかを知っていただきたいと思っています。

目次

- ・グローバル業務標準の目的
- ・私たちの責任
- ・サポートを求める理由と方法
- ・この業務標準の適用範囲
- ・関連方針と手順
- ・電話連絡先一覧

グローバル業務標準

この業務標準の策定目的

Steelcaseグローバル業務標準は、政府規制、文化的価値観、慣習、倫理、当社のコアバリューといった多数のソースに基づいて策定されています。

当社のグローバル業務標準には、法令遵守を徹底し、不適切な選択のリスクを軽減するために必要な行動について記載されています。反トラスト活動、利益相反、著作権侵害、購入契約など、機能領域によっては、個人が判断を行う際に、より深く考え、慎重に検討することが求められます。

確かに正しい答えと間違った答えが存在します。しかし、通常、当社の従業員にとって最善の答えは1つだけです。

当社の取締役、幹部、役員は、このような業務標準や当社の行動規範を裏付ける方針と手順を策定し、これを徹底する最終的な責任を負います。

グローバル業務標準

グローバル業務標準に関する方針

グローバル業務標準は、一般的な業務標準と慣行に基づいて策定されています。これは、会社や政府の規制と共に適用されるものであり、これらを置き換えるものではありません。

皆さんは、会社の方針、慣行、指針、ハンドブックと、当社が事業を営んでいる地域に適用される法律と規制を遵守することが求められます。

当社のグローバル業務標準は、世界中のあらゆるSteelcase事業体の全従業員に適用されます。さらに、当社のパートナー、ディーラー、サプライヤー、サービス業者、コンサルタントなど、当社と事業を行う者は、Steelcaseとの協業においてこれに従って活動することが求められます。

当社は米国に本拠を置く多国籍企業です。そのため、当社の海外事業には多数の米国法が適用されます。その場合、当社はまず米国法を遵守し、それから他国の法律を考慮します。これらの法律間に矛盾があると思われる場合は、Steelcase法務戦略チームか、ジム・オコナー（コーポレートコンプライアンス責任者、バイスプレジデント）に問い合わせてください。

さらに、当社では、皆さんに対して（私たちの集团的利益のために）違反や倫理的懸念を遅滞なく報告することを求めています。Steelcaseの方針では、グローバル業務標準の違反の疑いを報告したことで何らかの脅迫や制裁を受けることがないよう、従業員を保護しています。

私たちは自社の誠実さに対する社会的評価を誇りにしており、そのため、当社の企業標準は、当社が事業を営んでいる国で義務付けられている法律と規制の最低要件を遵守するだけにとどまりません。私たちは、これらの指針の背後にある精神と趣旨を尊重するよう当社の従業員に奨励しており、同じように高度な倫理上、法律上、規制上の原則を採用している企業との連携を望んでいます。

グローバル業務標準

誠実さに関するプロセス

- マネージャーやチームリーダーと話し合う
- 人事部門や従業員関係部門のマネージャーと話し合う
- インテグリティラインを使用する
- オープンドアプロセスを使用する

すべきこと、サポートを求める相手

まず直属のマネージャーかチームリーダーに懸念を伝えます。彼らでは対応できない場合や、彼らに伝えることが不適切な場合は、インテグリティラインを使用します。法律、安全性、環境その他に関する潜在的な問題が生じる可能性がある場合は、常に、その状況について気兼ねなく伝えるようにしてください。

インテグリティラインの目的は懸念の解決を支援することであり、問題の報告者を特定することではありません。このサービスに関する秘密を保持するため、あらゆる取り組みを行っています。報告を受けるコンサルタントはSteelcaseの従業員ではありません。電話をかけるときに自分の名前を伝える必要はありません。報告者の特定や発信元番号の追跡が可能なレコーダーやデバイスは使用していません。報告書の提出を希望する場合は、名前を明かさずに報告状況を確認できる追跡番号が発行されます。

懸念報告者の保護

当社の方針では、倫理上、法律上、規制上の問題の提起や追求を行った者が、それによって報復を受けないことを保証しています。さらに、疑わしい行為について報告した人物の秘密を保護するために、あらゆる取り組みを行っています。

インテグリティラインの電話番号

詳細については、GBSインテグリティラインウェブサイト(integrity.steelcase.com)でいつでも確認することができます。

グローバル業務標準

私たちの責任は広範囲に及んでいます

私たちは以下の6つの責任を共有しています。

- 相互に負っている責任 -従業員に対する責任
 - 株主に対する責任 -顧客に対する責任
 - ビジネスパートナーに対する責任 -世界中の地域社会に対する責任
- これらの責任については、以降のページで説明します。

相互に負っている責任

私たちは、以下のような責任を負っています。

- ・ 当社のグローバル業務標準を理解し、サポートする
- ・ 適用される法律と規制(一部は米国法に基づいています)を遵守する
- ・ 適用される会社の方針と慣行を遵守する
- ・ 実直で適切な企業行動の高度な基準を維持する
- ・ 妥協的な状況(誰かが他者の法律、規制、会社方針の違反を支援したり、支援しているように見えたりする状況)を避ける

当社のリーダーシップチームは、以下のことが求められます。

- ・ 当社のグローバル業務標準を理解し、サポートする
- ・ 部下、とりわけ、新規従業員、昇進した従業員、職務に変更があった従業員に対し、当社の事業活動指針を説明する
- ・ 妥協的な状況を避ける
- ・ チームメンバーに対してトレーニングを実施し、チームメンバーが自分の職務に関わる法律や規制の問題を認識し、これらを遵守するようにする
- ・ 倫理上、規制、法律上の問題について率直に話し合うことができる開かれた環境を構築する
- ・ 誠実さをもって行動し、高度な倫理的行動の模範を示す

グローバル業務標準

従業員に対する責任

この項目にはさらに、全従業員が遵守しなければならない6つの重要な標準があります。

- 尊厳と敬意をもって人を扱う - 従業員を育てる
- 多様性を受け入れる - オープンドアを使用する
- 従業員のプライバシーを尊重する - 安全かつ衛生的な環境を提供する

尊厳と敬意をもって人を扱う

当社は、職場内のどこであっても、差別的な行為や行動を許しません。当社の従業員は、威嚇、脅迫、敵意、暴力、嫌がらせ、職務遂行の中断などのない雰囲気の中で業務を行う権利を有しています。差別的な行為や嫌がらせ行為を目撃した従業員は、それを速やかに報告することが求められます。当社は、当社が営業している国の雇用法を遵守します。

従業員を育てる

パフォーマンス管理プロセス、トレーニング、研修費の払い戻し、チームワークやキャリア計画により、能力開発の機会を確保します。

多様性を受け入れる

会社はその従業員なしでは成り立ちません。当社は、当社の従業員、サプライヤー、ディーラーネットワーク全体にわたり、多様性と一体性の支援と受け入れに取り組んでいます。

オープンドアを使用する

当社の従業員は懸念事項を管理職と話し合うことが推奨されます。どの従業員も、担当の従業員関係部門マネージャーに相談するか、他のSteelcase管理職メンバーと問題について話し合う機会を設けるよう要請することをおすすめします。問題を迅速かつ適切に解決するためのオープンドアを使用するためのプロセスが設けられています。この機会を利用して懸念について話し合うには、当該方針を参照して手順を確認してください。

従業員のプライバシーを尊重する

当社では、事業の効率化のために法律で義務付けられている従業員情報を保持します。この記録は秘密情報にあたり、当社は皆さんのプライバシーと尊厳を尊重します。ただし、個人のプライバシーに関する懸念と、他者の尊厳、安全、幸福に関する懸念との釣り合いがとれるようにします。

安全かつ衛生的な環境を提供する

どの施設も、安全かつ衛生的な職場環境を徹底するため、適用法、規制、会社方針に準拠した安全性プログラムの策定が義務付けられています。従業員は安全衛生に関する規則に従うことが求められます。これには、衛生・安全・環境に関する適切な予防措置を講じることを含みます。事故、傷害、危険な行動や状況があれば必ず直属の上司がインテグリティラインに報告してください。従業員は、安全かつ

効率的な職務の遂行を妨げる可能性があるものから影響を受けることなく業務を行えるよう、報告する必要があるのです。当社は状況を是正するために迅速かつ適切な措置を講じる責任を負います。

グローバル業務標準

株主に対する責任

このセクションでは、当社の株主に対する責任に関する5つの標準について説明します。

- 正確な事業記録を維持する - 責任ある行動をとる
- 公務員への対応を行う - 財務情報を開示する
- メディア対応や公式声明を発表する

正確な事業記録を維持する

Steelcaseは株主やその他の利害関係者に対して有益で十分な財務情報を提供しなければなりません。この情報は、米国証券取引委員会(SEC)やその他の規制機関が定めた規則や規制に準拠します。

当社では、取引の適切な実施と記録を徹底するために、財務記録の内部管理システムを使用しています。すべての記録は、内部および外部の監査人と規制機関によって定期的に監査を受けています。当社は財務記録に関するすべての法定要件と規制要件を遵守し、米国の連邦、州および地方政府、さらには当社が事業を営んでいるその他の国における同等の機関のすべての規則に従います。

責任ある行動をとる

各マネージャーは、内部管理を維持し、担当部門における政府の規則や規制の遵守を徹底する責任を負います。従業員が当社を代表して行為をする場合、すべての取引において実直に行動することが求められます。これには、従業員の出張費報告書、財務諸表、財務報告書を正確に記入することを含みます。目的の如何を問わず、秘密または簿外の現金資金その他の資産を作ったり保持したりしてはなりません。

管理職や、内部や外部の監査人に対して情報を隠匿したり伝えなかったりした場合は、重大な違反となります。改ざんや不正な行為の疑いに気付いた者は、それを内部監査部門、人事部門、または法務戦略チームに報告するか、Steelcaseグローバル業務標準インテグリティラインまたはオープンドアプロセスを使用して経営幹部に伝えなければなりません。

公務員や他社の法務担当者への対応

Steelcase法務戦略チームは、連邦、州、地方政府や機関、さらには他社の法務担当者からの問い合わせに対応します。従業員に接触があり、情報を求められた場合は、その問い合わせについて法務戦略チームに委託する必要があります。

法的文書が当社に送達された場合、従業員はそれを受領せず、その文書の送達者を法務戦略チームに向かわせてください。すぐに上司の指示を仰いでください。

グローバル業務標準

Steelcase Inc.の経営に関する情報開示

Steelcase Inc.の経営に関する財務データや情報の要請は、すべて投資家向け広報活動部門に伝える必要があります。投資家向け広報活動部門は、投資家、証券アナリスト、証券取引市場、サプライヤー、顧客および広く一般の人々からの、Steelcaseの経営と業績に関する問い合わせに回答します。ただし、証券取引委員会の法律に違反しない要請に限って、一般の従業員が対応してもかまいません。

メディア対応や公式声明を発表する

報道機関による情報の要請は、Steelcaseの広報・コーポレートコミュニケーション部門を通じて処理する必要があります。事業情報を公開する場合は、適用法と規制だけでなく、Steelcaseコーポレートコミュニケーション方針に準拠して行います。

資産

当社の管理と言う場合には、当社の資産、つまり当社の所有物の管理が含まれます。私たちは、ペーパークリップから機械まで、これらの資産の保全と保護を行う責任を負います。そうすることによって、当社やその財務安定性が守られます。

有形財産の保護

従業員は自分が管理しているすべての会社資産を保護する責任を負います。該当する有形資産には、資金、財産、ソフトウェア、記録などがあります。必要に応じて、従業員は、これらの資産に関する正確で監査可能な記録を提出するよう依頼されることがあります。従業員は、適切な許可を得ることなく、不正な業務外の目的や個人の利益のために、Steelcaseの資金、財産、情報、記録を使用してはなりません。このような行為は会社財産の窃盗とみなされる可能性があります。

無形財産の保護

当社の従業員は会社の無形資産を適切に使用、保全、保護する責任を負います。これには、専有の営業情報や技術情報、特許、ブランド、商標、暖簾、ソフトウェア、その他の知的財産を含みます。

従業員は、適切な許可を得ることなく、不正な業務外の目的や個人の利益のために、Steelcaseの無形財産を使用してはなりません。このような行為は会社財産の窃盗とみなされる可能性があります。

従業員は適切な承認を得ることなく他社の無形財産（動画、歌など）を使用してはなりません。この事項に関するサポートが必要な場合は法務戦略チームに問い合わせてください。

グローバル業務標準

専有情報の保護

従業員は会社の秘密情報をいかなる個人や会社にも漏らしてはなりません。ビジネス状況によっては、秘密情報を共有することが利益になる場合があります。しかし、まずは法務戦略チームに相談する必要があります。

この情報には、従業員、財務、製品、買収、合併に関する情報や、公になった場合に競合他社、サプライヤー、顧客その他の個人または事業体の利益となり得る機密性の高い情報などがあります。

利益相反の回避

従業員は、個人的な配慮や関係が業務上の意思決定に影響を与えないようにしなければなりません。家族や親密な個人的関係が影響を与えた場合、利益相反にあたります。利益相反の例には、社外での経済的利害関係、親類との取引の実施、会社の贈答品、金銭、接待の授受などがあります。

社外雇用の追求

従業員は、社外において、趣味、事業、その他の利害関係を自由に持つことができます。しかし、従業員はこれらの活動がSteelcaseに対する義務と一切相反しないことを確認しなければなりません。また、従業員は、業務時間内や会社の敷地内で業務を行っている間、同僚に対して製品の販売を持ち掛けたり、趣味や事業の宣伝をしたりしてはなりません。

外部組織の理事会への参加

非営利団体での活動は、私たちが生活や仕事をしている地域社会への当社の貢献を示すものであり、奨励されています。従業員は、潜在的な利益相反が生じないのであれば、非営利団体の理事を務めることができます。利益相反の可能性の有無を判断するため、内部監査部門ディレクターに問い合わせてください。

米国では、上場営利企業の取締役就任を希望する従業員は、内部監査部門ディレクターから事前に承認を得なければなりません。

賭博や貸借の回避

Steelcaseの時間や財産を使った賭博は禁止されています。また、当社では、法律が異なるという理由から従業員間での貸借を控えるよう要請しています。例えば、米国では、州によって、貸与を行う前に個人にライセンスの取得を義務付けたり、請求可能な利息の額を規制したりしています。

インサイダー取引の回避

Steelcaseは、当社の株主や金融市場の秘密保持に取り組んでいます。Steelcaseのインサイダー取引に関する方針により、従業員がSteelcaseの株式を売買できる時期は制限されています。従業員とその世帯員は、個人的な利益のためにSteelcaseに関する「非公開情報」を使用することはできず、さらに他者と情報を共有してはなりません。

グローバル業務標準

顧客に対する責任

このセクションでは、当社の顧客に対する責任に関する3つの標準について説明します。

- 品質、価値、イノベーション-顧客満足
- 広告活動

品質、価値、イノベーション

当社製品の設計や生産において第一に考慮することは、製品使用者の安全と健康です。当社では常に製品の品質と安全性をモニタリングし、製品とサービスの継続的改善に努めています。

当社のどの部門も、当該国内で販売を行う前に、少なくとも、製品品質と安全性に関して適用される業界標準に準拠する製品の設計、製造、納入を行う責任を負います。

顧客満足の追求

当社は、Steelcaseのディーラーや顧客が単に「サービスを受ける」だけでなく、当社、ディーラー、サービス業者との体験に心から満足してもらいたいと考えています。

広告活動

Steelcaseは、真実のみを語る、誠実さをもって行動するという当社の2つのコアバリューに反するため、虚偽の広告活動を行うことはありません。私たちは自社の製品とサービスを実直かつ事実に基づいて伝えます。

グローバル業務標準

ビジネスパートナーに対する責任

ビジネスパートナーと関わる際に考慮すべき事項は5つあります。

- 良好なコーポレートシティズンシップの促進-政治献金の実施
- 海外腐敗行為防止法の遵守-制限的な貿易プロセスへの参加
- 輸出入法の遵守

良好なコーポレートシティズンシップの促進

当社は、従業員の住む場所にかかわらず、生活の質を向上できるよう、地域社会への貢献を行っています。Steelcase基金とSteelcase Inc.は、定期的に金銭や家具の寄付を行っています。当社は、芸術文化、教育、環境、保健福祉、社会福祉、地域社会や経済の発展といった領域で、何百もの組織を支援しています。

当社では、従業員に対して、自分が属している地域社会に利益をもたらす組織やプロジェクトへの参加を奨励しています。当社はまた、従業員の知識やパフォーマンスの向上につながるという考えから、職能団体や事業者団体への参加(マネージャーの事前承認が必要です)を従業員に奨励しています。

政治献金の実施

従業員は、個人の立場で、任意の政党、公職候補者、政治活動委員会に献金を行うことができます。当社が政治献金への払い戻しを行うことはありません。

「1977年海外腐敗行為防止法」の遵守

同法は、米国に本拠を置く公開・多国籍企業であるSteelcaseに適用される規制の1つです。Steelcaseは、事業の獲得、維持、誘導を目的として外国公務員や国有企業の職員への支払いを行わないよう義務付けられており、さらにそのような支払いを自社に代わる者に許可しないよう義務付けられています。このような行為は「1977年海外腐敗行為防止法」によって禁止されています。同法はまた、国際的な商取引の正確な記録を維持するよう義務付けています。さらに、当社が経営や事業を行っているほとんどの国で、同様の法律が制定されているか制定過程にあります。

米国外においては、そのような支払い、贈答品、貸借、サービスがその国で適法な行為とされており、かつ米国法に違反しない場合に限り、これらの行為が許可されます。そのような性質を持つものについては、会社の適切なバイスプレジデントとSteelcase法務戦略チームから事前に承認を得なければなりません。

グローバル業務標準

国際的ボイコットや制限的貿易慣行への参加

当社は、米国の制裁によるものでない限り、国際的な経済ボイコットへの参加や支援を行いません。これは、米国政府のボイコット禁止法によって禁止されています。Steelcaseは、特定の国、特定の国の政府、特定の民間団体への輸出を禁止する、現行のすべての米国禁輸法を遵守しています。状況により、従業員の業務遂行国の法律と法的な矛盾が生じる場合は、すぐにSteelcase法務戦略チームに連絡してサポートを求めてください。

輸出入法の遵守

Steelcaseとそのサプライヤー、代理業者、ディーラー、その他のSteelcaseを支援する事業体は、米国の輸出入法と、原産国と仕向国の輸出入法を遵守しなければなりません。

グローバル業務標準

世界中の地域社会に対する責任

この責任に関しては、2つの事項を取り上げます。

-倫理に関する当社の伝統-環境保護

当社には、倫理に関して受け継いできた伝統があります

「倫理的企業」は、その土地の法律と自社の事業や所属している業界に対する規制を遵守します。当社の従業員は、法律の範囲内で行動し、その背後にある精神を尊重することが求められます。当社の国際的な事業経営においては、米国の慣行とは異なる法律、地域慣習、社会規範に遭遇することがあります。米国外での事業活動について定めた米国法は、常に現地法に優先します。

当社は、米国外に適用される米国法で禁止されている行為や同法に反する行為をしません。ただし、ほとんどの従業員は、そのような法律の相反に遭遇することはないでしょう。この種の問題に関して質問がある場合は、インテグリティラインかSteelcase法務戦略チームに問い合わせてください。

環境保護

私たちが「環境を守る」という当社のコアバリューに基づいて行動するたびに、私たちは従業員、顧客、地域社会に積極的な貢献をすることになります。当社は、環境・衛生・安全への配慮を製品、活動、サービスに積極的かつ継続的に取り入れることを目指しています。当社は、適用されるすべての環境要件を満たし、さらにはそれを上回るよう絶えず努めています。

Steelcaseは、会社の財産について、また会社を代表する場合に、環境・衛生・安全に関する考慮事項を意図的に無視することを容認しません。当社は、当社が営業している国に適用される法的要件や基準を遵守します。当社は、コンプライアンス調査が行われている間、Steelcase法務戦略チームと協力して専門的、積極的、かつ率直に調査機関への対応を行います。

Steelcase インテグリティヘルプライン

私たちは、企業として、正しい行動をし、倫理的な業務慣行を遵守していることを誇りにしています。私たちは、個人として、実直かつ誠実に職務を遂行することが求められます。私たちはまた、当社の価値観に反する活動や当社の社会的評価を脅かす活動に気付いた場合に声を上げる責任を負っています。

自分の考えを伝える方法は複数あります。Steelcaseの従業員であれば、まずは直属の上司や人事担当者に伝えるのが最適です。これらの伝達経路が利用できない場合や、匿名を希望する場合は、外部企業が管理している内密のSteelcaseインテグリティヘルプラインを通じて報告することもできます。このヘルプラインは、世界中のSteelcaseの従業員と利害関係者が利用することができます。

当社では、皆さんがインテグリティヘルプラインを通じて自分の質問や懸念を伝える方法を複数設けています。倫理やコンプライアンスに関する質問や会社方針に関する問い合わせがある場合、integrity.steelcase.comの新機能「質問をする」を利用することができます。皆さんの質問は匿名かつ内密に扱われます。また、詳細な確認と調査を要する、より重大な懸念がある場合は、当社のウェブサイトでインシデントを報告することができます。オンラインではなく電話でインシデントを報告したい場合、北米の電話番号は+1.800.437.6167です。

さらに、当社のウェブサイトにはドロップダウンメニューが設置されており、自分の国を選択することで国別の国際フリーダイヤル番号を確認することができます。また、一部の国のために複数の言語オプションが用意されています。さらに、参考資料として、当社のウェブサイトでは重要なグローバルポリシー（グローバル業務標準、人事方針、出張・経費に関するグローバル方針など）を閲覧することができます。

報告が必要な問題の種類

以下のような、法律、Steelcase方針、当社のコアバリューの違反にあたると思われるインシデントがある場合、それを報告する必要があります。

- ・誹謗中傷、性的嫌がらせ、差別
- ・利益相反、従業員関係
- ・腐敗行為、贈収賄
- ・環境問題
- ・不正確な財務報告や会計実務
- ・秘密情報の不正使用や開示
- ・方針違反や情報セキュリティに関する懸念
- ・安全性の問題や品質に関する懸念
- ・窃盗や詐欺などの不正行為
- ・職場での暴力や暴力の恐れ

報告の実施手順

インシデントを報告する最も簡単な方法は、integrity.steelcase.comからオンラインで報告を提出することです。この方法で報告する場合、必要に応じて言語を翻訳するためのドロップダウンメニューが右上隅にあります。オンラインでの提出は、3つの簡単な手順で行うことができます。まず、カテゴリーの一覧から自分が行う報告の性質を最も表しているカテゴリーを選択します。次に、指示に従って一連の質問に答えていくことで状況の詳しい説明と記載を行うことができます。最後に、報告するインシデントを再確認して、提出します。

電話を通じてインシデントを報告することを希望する場合は、24時間365日、Steelcaseインテグリティヘルプラインを利用することができます。このヘルプラインは、職場での懸念事項への対応を専門とし、言語翻訳を提供する独立した会社によって運営されています。Steelcaseではなく、この第三者事業者に勤務するコミュニケーション専門家が懸念の報告を受け、場合によって、明確化のために追加の質問を行います。オンラインでの報告か電

話での報告かにかかわらず、事後の連絡を行う際に報告者を識別できるよう、報告者には内密の事案番号が割り当てられます。

報告の処理者

コミュニケーション専門家が報告書を作成し、確認、調査、対応のためにそれをSteelcaseの特定のリーダー（グローバル監査、コーポレートセキュリティ、法務戦略）に送ります。その後、Steelcaseは、インシデントの結果に関する対応状況をインテグリティヘルプラインシステムに投稿します。報告者が自分の報告状況をオンラインや電話で確認することを選択した場合は、これで自分の懸念に関する状況を確認できるようになります。

匿名性の維持

多くの国では、オンラインでの懸念の報告時やインテグリティヘルプラインに電話する際に、報告者が自分の名前を伝える必要はありません。報告者が自分の身元を明かすことを選択した場合、その情報は可能な限り秘密に取り扱われます。誠実に疑念を報告したことによってSteelcaseの従業員が報復を受けることは決してありません。ただし、特定の国においては、現地の規則や規制のために匿名での報告ができません。その場合、Steelcaseの従業員がインシデントを報告するには、自分の身元を明らかにする必要があります。

Steelcaseインテグリティヘルプラインウェブサイト

Integrity.steelcase.com

米国通話料無料インテグリティライン

1.800.437.6167(英語、スペイン語、フランス語、ドイツ語、中国語(北京官話))

国際通話料無料インテグリティライン

ドイツ 0-800-181-5083(ドイツ語、英語、スペイン語、フランス語、中国語(北京官話))、フランス 0805-080566

(フランス語、英語、スペイン語、ドイツ語、中国語(北京官話))、メキシコ 01-800-681-9511(スペイン語、英語)

マレーシア 00-800-1777-9999(マレー語、英語)

国際インテグリティライン(母国語と英語の翻訳を提供)

オーストラリア 1-800-763-983

アゼルバイジャン 1-720-514-4400

ベルギー 0800-260-39

ブラジル 55-2120181111

カナダ 1-800-235-6302

中国 400-120-3062または00-800-1777-9999

クロアチア 1-720-514-4400

チェコ共和国 800-701-383

香港 800-906-069

ハンガリー 00-800-1777-9999

インド 000-800-100-4175

イスラエル 00-800-1777-9999

イタリア 00-800-1777-9999

日本 0800-170-5621

マカオ 00-800-1777-9999

マレーシア 00-800-1777-9999

オランダ 00-800-1777-9999

ポーランド 00-800-141-0213

ポルトガル 00-800-1777-9999

ルーマニア 0-800-360-228

ロシア連邦 8-800-100-9615

サウジアラビア 966-8111072514

シンガポール 800-852-3912

南アフリカ 001-800-1777-9999
韓国 080-808-0574
スペイン 00-800-1777-9999
スウェーデン 00-800-1777-9999
スイス 00-800-1777-9999
トルコ 00-800-113-0803
UAE 8000-3570-3169
英国 0-808-189-1053